

# 大阪第6地方合同庁舎（大手前合同庁舎）

## 各施設に入居する機関を集約



- ◆ 老朽、耐震性能不足への対応
- ◆ 複数施設を使用している機関の分散解消
- ◆ 狭あいの解消

|      |                          |
|------|--------------------------|
| 構造形式 | 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造          |
| 階数   | 地上14階、地下1階、塔屋3階          |
| 敷地面積 | 6,453.54 m <sup>2</sup>  |
| 延床面積 | 48,877.56 m <sup>2</sup> |
| 建ぺい率 | 58.52%                   |
| 容積率  | 658.57%                  |
| 工事費  | 約194億円                   |
| 事業期間 | 平成30年度～令和4年度             |



## 事業の効果

- 以前の大手前地区は、耐震性能の不足や狭あい、機能分散等により業務に支障がある庁舎が複数存在していたが、大阪第6地方合同庁舎の建設により、それらの問題を解消。
- 災害応急対策活動拠点施設の整備として、大規模地震時等に対応するため防災性を高めている。また、政策課題であるバリアフリー・ユニバーサルデザインの導入、環境性能の確保、周辺施設との調和・連携等、官庁営繕事業として公共建築の先導的役割を果たしている。

